

令和元年度 第2回 かほく市子ども・子育て会議 会議録

○会議の概要

開催日時	令和2年1月22日(水) 15時00分から16時30分まで
開催場所	かほく市役所 302会議室
出席者の氏名	委員 西村委員、本多委員、山本委員、西盛委員、星名委員、細井委員、西盛委員、喜多委員、玄海委員(以上9名)
	事務局 市民生活部長：丸井、健康福祉部長：中田、 ＜子育て支援課＞課長：中田、課長補佐：清水、指導保育士：山岸、子ども総合センター次長：大浦、係長(児童家庭係)：寺嶋、係長(子育て支援係)：平野、係長(子育て支援係)：大根、係長(保育係)：新田、主査：酒井 ＜健康福祉課＞課長：越井、係長(母子保健係)：藤井(以上13名)
欠席委員	2名
傍聴者	0名
議題	(1) 第1期かほく市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について (2) 第2期かほく市子ども・子育て支援事業計画素案について (3) 令和2年度認定こども園等受け入れ対応について (4) その他
配付資料	・会議次第 ・資料1：「かほく市子ども・子育て支援事業計画」 平成27年度～30年度【4ヶ年】事業評価・検証シート ・資料2：第2期かほく市子ども・子育て支援事業計画(素案) ・資料3：令和2年度こども園等受け入れ対応

○議事要旨

発言者	発言要旨
1 開会	
2 市民生活部長あいさつ	
3 議事	
(1) 第1期かほく市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について	
事務局	[資料1に基づき、説明]
会長	・事業の内容が多く、委員として評価を行う事が難しいと感じるので、例えば事務局側が課題と考えている部分を示すなどがある方が良いと考える。
委員	・平成と令和が混在する時期なので、西暦もあわせて表記した方が分かりやすい。
事務局	・両意見について、今後検討します。
(2) 第2期かほく市子ども・子育て支援事業計画素案について	
事務局	[資料2に基づき、説明]
委員	・ニーズ調査の対象を18歳まで拡充させてはどうか？ ・制服等学用品の購入費の補助はできないものか？ ・屋内遊戯施設は是非とも作ってほしい。
事務局	・かほく市内に高校がない為か、調査の自由意見の欄で、通学定期の補助を要望する意見が何件あった。調査対象については、次回のニーズ調査で再検討する。 ・屋内遊戯施設については、加賀市や金沢市などの先進地事例を参考にして、現在計画

	中です。
会長	・37ページの『6 子ども・子育て家庭を取り巻く課題』に「(2) 親と子が共に楽しく育つことができる環境の充実」とあるが、楽しく思えていない方が、自身のことを「普通ではないのでは…」とマイナスに考えてしまうかも知れないので、「楽しく」を「安心して」などに変えてはどうか？
事務局	・了解しました。
委員	・81ページの「要保護児童対策地域協議会」について、内容を説明してほしい。
事務局	・①年1回の代表者会議②2カ月に1回の実務者会議③事例ごとの個別検討の3層構造となっています。
会長	・全体の概要はわかりましたが、どのような場合に、どこへ相談したらいいのか？
事務局	・子ども総合センターが窓口となっておりますので、何かありましたら、まずはこちらへご連絡ください。
会長	・児童虐待は未然防止が重要。学童保育クラブやこども園などの関係者向けに、研修会の実施や押さえておくべきポイントを指導するなど有効と考える。
委員	・市民の中には、何かの事例を目撃しても「通報してもよい立場か？内容か？」と悩む方もいる。相談窓口や連絡先がわかるようなものがあると良い。
事務局	・わからない場合は、市役所へ連絡していただければ、夜中であっても宿直者が対応します。 ・また、「189」番に電話すると、その地域の児童相談所につながります。24時間対応となっています。
委員	・今の親御さんは、自分の子が何かの問題行動を起こした場合、「自分の子育てが失敗したのではないか」と考え、なかなか外部へ相談できないようだ。
会長	・かほく市でも NP（ノーバディーズパーフェクト）プログラムなどいろいろなフォローがあるが、思春期の子を持つ親御さんへの支援も重要かと感じた。 ・このことから、44ページ『児童へのきめ細やかな支援の推進』とあるのを、『家庭へのきめ細やか〜』などのような、親と子への対応を含めた表現にしてはどうか？
事務局	・了解しました。
会長	・他にご意見等はありませんか？
委員	・現在、かほく市では待機児童対策として受入施設の増設、定員増などで対応しているが、保育士も不足していて、また、将来的には人口減少が危ぶまれている中で、預けるところを増やすのではなく、預けなくても子育てしやすい環境にできないものかと考える。 ・加賀市の屋内遊戯施設へ行ったとき、天候を気にせずに遊べる建物の中で、保護者達がおやつや飲み物を持ち寄り、その横で子どもが大型遊具で遊んでいた。別に保育施設へ預けなくても、そういう場所を利用しながら家庭で育児していければ、理想的であると感じた。ただし、そのためには、育児休暇などで企業の協力が不可欠。
委員	・屋内遊戯施設を検討中とのことだが、そこには子育ての相談窓口も設け、情報収集、発信に繋がると良い。 ・また、相談窓口については、いろいろな媒体を利用し周知していくことが効果的と考える。
委員	・屋内遊戯施設のような人が集まる施設を作ることも大事だが、そういうものを利用しながら、一生懸命に家庭で子育てをしようとする人への支援を増やすべきと考える。

委員	・今回の資料を見て、初めて知った事業も多い。知らないままの人も多いと思うので、もっと多くの人に知ってもらいたい。
(3) 令和2年度認定こども園等受け入れ対応について	
事務局	[資料3に基づき、説明]
委員	・分園の名称は？
事務局	・ひまわりこども園分園というのが名称だが、他にニックネームは考えたいと思っています。
(4) その他	
事務局	[資料3に基づき、説明]
委員	・分園の名称は？
事務局	・ひまわりこども園分園というのが名称だが、他にニックネームは考えたいと思っています。
(4) その他	
事務局	・今後のスケジュールについて、次回の第3回会議を2月12日(水)15時～、今年度最終の第4回会議を3月9日(月)に開催したいと思います。
5	健康福祉部長あいさつ
6	閉会